



(提供先：茨城県立歴史館)

今月の1枚

茨城県立歴史館のいちょうまつり

偕楽園の北隣に位置する茨城県立歴史館は、県内の歴史に関する貴重な資料を収集・整理・保存する文書館機能と各種資料を展示する博物館機能を備えた施設として、昭和49年9月に開館しました。

各種資料を保管・展示する本館には、貴重な古文書や行政資料等が30万点以上収蔵され、閲覧室を通して資料に触れることができます。また、昭和62年に建設された徳川慶喜公ゆかりの「一橋徳川家記念室」では、当家から寄贈された約6千点の蔵書や美術・工芸品等を見学することができます。

歴史館が建つ敷地は、明治32年から昭和45年まで、茨城県立水戸農業高等学校の学び舎が建ち、多くの学生が勉学に励んだ土地です。現在では、本館や講堂、茶室をはじめ、復元された旧水戸農業学校本館等が設置されています。中でも、移築・保存された明治時代の洋風校舎・旧水海道小学校本館と江戸時代の農家建築・旧茂木家住宅は、県指定文化財に指定されており、一歩足を踏み入れるとその時代にタイムスリップしてしまったかのような感覚に包まれます。また、蓮池やいちょう並木等がある庭園は、平成13年に都市公園として無料開放され、人々の憩いの場となっています。

歴史館では、所蔵品の素晴らしさを伝えるために、年間を通してコンサートや小中学生向けの親子歴史講座等、多数イベントを開催しています。特に、茨城県民の日である11月13日を中心に開催される「歴史館いちょうまつり」では、昭和20年代に植えられた約60本のいちょう並木がライトアップされ、幻想的な景色が広がります。

ご家族・ご友人とともに、黄金に光り輝くいちょうを愛でながら、秋の夜長を過ごしてみたいはいかがでしょうか。

(筑波総研株式会社 研究員 富山かなえ)



◆場所：茨城県水戸市緑町2-1-15
アクセス：

【電車等】JR常磐線「水戸駅」下車、茨城交通バス（水戸駅北口4番のりば）から偕楽園方面行き乗車10分、「歴史館・偕楽園入口」下車、徒歩2分

【自動車】常磐自動車道水戸インターから大工町方面へ約7km、約15分

「歴史館いちょうまつり」：平成27年11月1日(日)～23日(月) (いちょう並木のライトアップ：12～15日)
※いちょう並木ライトアップイベント14日(キャンドルナイト・ナイトミュージアム・灯りのステージコンサート・いちょうレストラン)

お問合せ先：茨城県立歴史館 TEL：029-225-4425